※令和４年度以降入学生用

学校番号	1003

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	(学)児童文学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

児童文学に興味があり、特に保育・福祉系の学校へ進学を希望している生徒向けの科目です。
児童向けの本の特徴や、絵本を読み聞かせる効果や意義について考えるとともに、鑑賞、音読や朗読を通して、日本語の表現やリズムを味わい、想像力、表現力を高めます。

2　学習の到達目標

・児童文学の特徴や語句と絵の用いられ方について理解する。
・絵本を読み聞かせる効果や意義について考えることができる。
・児童文学の表現を味わったり、理解を深めたりすることができる。
・本を読む楽しさを味わい、読書への関心を高め、読書の習慣をつけるようにする。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	児童文学における、言葉の特徴やきまり、挿し絵の役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。文章や絵から的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりできる。	児童文学の表現を味わったり、自分の考えを深めたり、発展させたりしている。読み聞かせの効果や意義について自分の考えをまとめ、深めている。目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	児童文学を読む楽しさを味わい、読書に親しむとともに、読書への関心を高め、読書の習慣をつけるようにする。言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	児童文学を読んで特徴を理解する。 ［教材 自主教材	a:絵と文章の関係や言葉遣いについて理解している。 b[　話/聞　]:文章や絵から的確に読み取ったり、物語の展開や表現方法について考察しようとしたりしている c:目的に応じて幅広く読んだりすることができる。	定期考査 課題の提出	課題の提出 行動の観察	振り返りシート
	音読や、教材の理解を通して、読みを深める ［教材］ 自主教材	a:書き手が描こうとしていることを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 b[　読　]:文章や絵から的確に読み取ったり、物語の展開や表現方法について考察しようとしたりしている c:目的に応じて幅広く読んだりすることができる。	定期考査 課題の提出	課題の提出 行動の観察	振り返りシート
二学期	表現の特徴を理解し鑑賞する。 ［教材］ 自主教材	a:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。 d[　聞/話　]:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いて、考察し発表する。 c:児童文学を読む楽しさを味わい、読書に親しむ	定期考査 課題の提出	課題の提出 行動の観察 発表	振り返りシート
	オリジナルのストーリーを捜索する ［教材］ 自主教材	a:必要な文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。書くことに必要な、文の組立てについて理解している。 b[　書　]:自分の考えをまとめ適切に表現している。目的、意図に応じた適切な表現による文章を書く。 c:物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるよう描こうとしている。	定期考査 課題の提出	課題の提出 行動の観察 発表	振り返りシート
	読み聞かせの効果を考えて読書の習慣をつける ［教材］ 自主教材	a:幅広く資料などに当たって、読み聞かせの効果を調べている。 b[　読　]:物語の展開や表現方法について考察しようとしている c:　児童文学に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている	定期考査 課題の提出	課題の提出 行動の観察	振り返りシート
三学期	言語文化を尊重し読書への関心を高め国語を尊重する ［教材］ 自主教材	a:文章や絵から的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりすることができる。 b[　書　]:児童文学の表現を味わったり、自分の考えを深めたり、発展させたりしている。 c:　言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	課題の提出	課題の提出 行動の観察	振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　３０　）時間